

週間漁海況情報 2022年第37号

令和4年9月13日発行

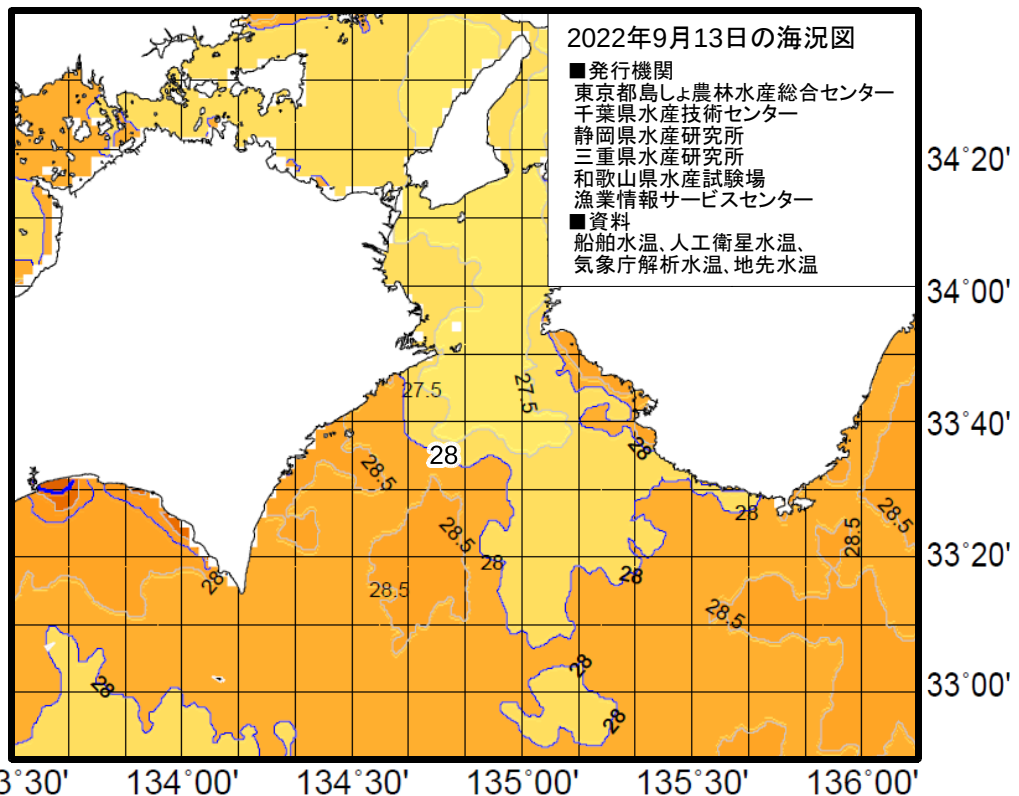
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖66マイル、潮岬沖169マイルを流れ、いずれも「著しく離岸」。そのため、黒潮からの紀伊水道外域への暖水波及は引き続き弱い。28℃以下の内海水は和歌山側から南下している。

黒潮の表面水温は28～29℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘と紀伊水道が27℃台、海部沿岸が27～28℃台となっている。海域間の水温差は非常に小さい。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～

潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

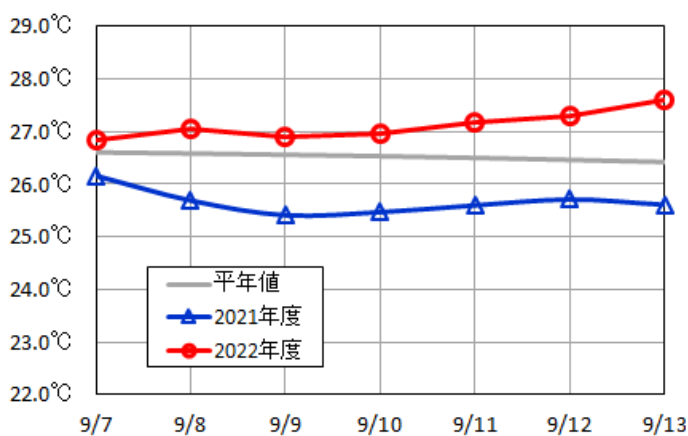
(いずれも正南方向)

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

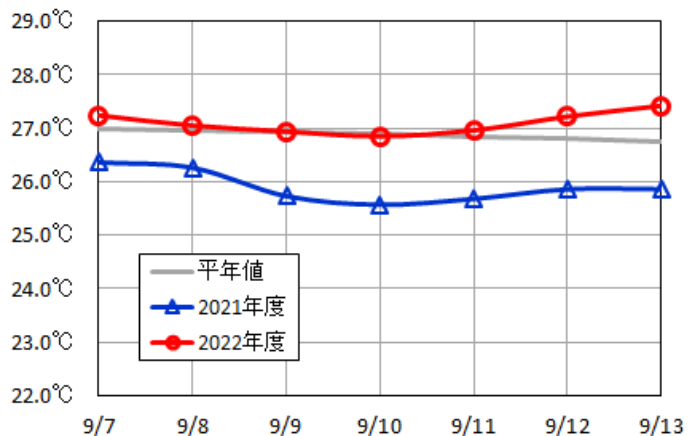
2. 地先水温(9月7日～9月13日)

鳴門地区の水温は26.8～27.5℃、日和佐地区は26.8～27.4℃で、いずれも「平年並み」から「やや高め」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は-0.2～0.3℃で、鳴門の水温が高い日が多かった。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(9月14日～9月20日)

黒潮は、室戸岬、潮岬沖ではいずれも「著しく離岸」で経過する見込み。

地先水温は、鳴門地区、日和佐地区ともに「やや高め」で推移する見込み。

漁況 (9月5日～9月11日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 5)

船びき網では、シラスが減って3.8ト水揚げされた。

延縄では、ハモが大きく減って中主体に1.9ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリが大きく増えてめじろ級主体に2.4ト、カンパチが0.5ト、マサバが大きく増えて0.3ト、イサキが大主体に0.2ト、メイチダイが大きく減って0.1ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが減って中主体に2.9ト、えそ類が大きく減って0.4ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

延縄では、キダイが増えて大主体に0.4ト、あまだい類が増えて0.2ト、アカムツが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、かます類が大きく増えて3.9ト、マアジが豆あじ主体に0.2ト、カンパチが増えて0.1ト、マルソウダが減って0.1ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※	
紀伊水道	船びき網	25	シラス	3,750	150		↘	
	延縄	27	ハモ	1,939	72	中主体	↘↘	
	小型定置網		13	ブリ	2,441	188	めじろ級主体	↗↗
			13	カンパチ	464	36		→
			5	マサバ	295	59		↗↗
			8	イサキ	161	20	大主体	→
			7	メイチダイ	140	20		↘↘
	底びき網		17	ハモ	2,932	172	中主体	↘
			16	えそ類	373	23		↘↘
海部沿岸	延縄		11	キダイ	377	34	大主体	↗
			8	あまだい類	233	29		↗
			4	アカムツ	200	50		↗↗
	小型定置網		4	かます類	3,882	971		↗↗
			5	マアジ	194	39	豆あじ主体	→
			4	カンパチ	139	35		↗
			2	マルソウダ	139	69		↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘